

頸城区 42号 2022・3 地域協議会だより

発行 頸城区地域協議会
編集 頸城区地域協議会事務局
(頸城区総合事務所
総務・地域振興グループ)
☎ 530-2311 FAX 530-2001

地域活動支援事業のお知らせ

地域活動支援事業は、市が地域の課題解決や活力向上に向け住民の自発的・主体的な地域活動に対して補助金を交付するものです。事業の提案者は5人以上で構成する団体等で、補助金交付額は頸城区では原則補助率100%、上限なし、下限は5万円です。事業提案の採択は地域協議会の審査によって決定されます。

○採択する事業

頸城区における豊かな地域資源を活かし、地域住民が自らの取り組みにより、住み続けたいまちづくりを進める事業で、頸城区の地域活動支援事業を活用し、地域住民が自主的、主体的に取り組む事業とします。

○提案（応募）することができる事業の例（あくまでも1例です。）

地域特性を活かしたまちづくり
●歴史遺産を活かしたまちづくり事業 ●特産品等を活かした活性化事業 ●まちづくり計画の策定事業 ●観光ボランティア育成事業 ●観光ガイドブック作成・配布事業 ●耕作放棄地復元モデル事業 ●空き店舗活用事業 など
安全安心なまちづくり
●自主防災訓練等の事業 ●防犯マップの作成・配布事業 ●安全・安心講演会事業 など
景観形成・生活環境の向上
●自然公園・里山の環境整備・保全事業 ●河川・湖沼の周辺美化・水質保全事業 など
健康・福祉の充実
●健康講座・健康ウォーク等の事業 ●高齢者世帯の見守り活動事業 ●子育て支援事業 など
教育・文化・スポーツ活動の振興
●青少年育成事業 ●文化（生涯学習）振興事業 ●スポーツ（生涯スポーツ）振興事業 ●郷土史学習事業 ●伝統文化・技能の保存・伝承事業 など
その他
●上記のほか地域活動支援事業の目的に合致する事業

地域活動支援事業募集のお知らせ

令和4年度頸城区地域活動支援事業の提案募集を4月1日(金)～4月20日(水)正午までの間に行う予定です。

事前相談を受け付けておりますので、事業提案を予定されている方はご連絡ください。

(担当：総務・地域振興グループ)



地域活動支援事業
市のホームページ

<https://www.city.joetsu.niigata.jp/soshiki/jichi-chiiki/katudou-shien.html>

令和3年度

地域活動支援事業の取組

令和3年度は11団体が地域活動に取り組みました。この中から3事業を紹介します。今後も皆様からの応援や参加をお願いします!!

◎市道頸城線等景観整備事業

くびき花の会

良好な景観と人間関係の維持を目的に、多くの市民の皆さんと一緒に市道沿線や中学校の花壇を整備し植栽する活動を行っています。

当初、3人で始めたこの活動は4年が過ぎ、46人、2法人が参加され、今後も頸城線の景観整備を中心に活動を継続していきます。



くびき花の会だより



◎地域の健康づくりと高齢者世代のスポーツによる生活改善推進事業

ユートピアくびき スポーツクラブ



体成分分析装置



健康増進とスポーツ活動への参加を目的に、この事業で体成分分析装置を導入しました。これを使った機能改善教室では、その人の状態に合わせた運動や食事の指導をしています。今後も運動習慣の結び付けや健康診断の結果改善に活用していく予定です。

◎頸城スポーツ少年団幼年野球活性化事業

頸城スポーツ少年団保護者会

子どもたちの野球環境の改善を目的に、くびき球場や大瀧小学校グラウンドで利用できる簡易式外野ネット等を用意し大会等で活用しています。昨年の大会でも少しずつですが、良い成績を残していますが、今後も野球を楽しめる環境づくりを進めていきます。



簡易式外野ネット

頸城区観光協会の現状報告から

この度、観光協会より設立から現在に至る経緯について報告を受けました。その発端が頸城区における地域を元気にするための提案事業として地域協議会で検討が始まったことを知り、観光協会が自ら実施する事業、区内の観光資源を発掘して洗練されたものとし、維持管理を継続していくことの難しさも理解することができました。観光協会が区の観光振興への寄与を目的に法人化されて4年目となる今日、より組織の充実を工夫し観光資源の活用を図りつつ観光協会が先頭に立ち区民と一体となり区内外への発信を大いにしてもraitたいですし、地域協議会としても今以上にできる限りの応援をしなければと強く感じました。

(地域協議会委員 小川 泉)

地域協議会委員合同研修会

1月25日開催

頸北地区（柿崎、大潟、吉川、頸城）の地域協議会の合同研修会が、柿崎地区公民館で行われました。参加者は委員31人で当区からは上村会長ほか6人が参加し、意見交換と講演会を行いました。

意見交換はグループに分かれ公共交通の在り方や空き家の活用について話し合いました。頸城区は今のところバス路線が確保できていますが、いざれ少子高齢化で真剣に取り組みなければと思います。空き家問題もしかりです。参考になった意見交換でした。

講演会は前島記念館の利根川文男館長を招き、「近代日本の立役者前島 密」と題して前島密の生い立ちや功績を分かりやすく説明いただきました。

(地域協議会委員 笠原 昇治)

令和3年度の活動を振り返って

委員2人から意見・感想を寄せていただきました

年度当初、「地域活動支援事業」の募集を受け、頸城区の採択方針に則り厳正な審査を行い事業を採択いたしました。

ほぼ毎回のようにながら、より良い方向性を考察しております。

自主的審議では「公民館利用のあり方」を取り上げ、様々な意見交換や勉強会を重ねながら、より良い方向性を考察しております。

未来の頸城が住みよいまちとなるように、前向きに取り組んで参りたいと思います。

地域協議会委員 佐藤 学

今年度もコロナ感染が収まらず、上越市でも毎日数十人の感染者が報告され地域経済や社会活動に影響が出ています。

地域協議会では地域活動支援事業を中心に地域公民館・豪雪対策などの課題を協議してきました。地域活動も制限されるなか、一方では大池・小池の利用者が増加しています。生活様式が変化する中でどういった活動が地域の活性化につながるのか、活動組織・団体などと一緒になって考え提案して行きたいと思っています。

地域協議会委員 新保 哲男

地域協議会のうごき

<協議会開催の経過>

- 11月19日 第7回地域協議会
 - ・新潟県南部産業団地の現状について（報告）
 - ・「地域協議会に関する意識調査」結果を受けた取組について（協議）
 - ★協議会終了後、頸城区地域協議会学習会「頸城区における公民館事業」を開催
- 12月13日 第8回地域協議会
 - ・令和3年大雪災害対応の検証と令和3年度冬期道路交通確保除雪計画について（報告）
- 1月25日 頸北地区地域協議会委員合同研修会
 - ・第1部 テーマ別意見交換（①公共交通のあり方について、②空き家の活用について）
 - ・第2部 講演「近代日本の立役者 前島 密」
講師 前島密記念館館長 利根川 文男 様
- 1月27日 第9回地域協議会
 - ・新潟県南部産業団地の現状について（報告）
 - ・地域協議会会長会議の報告について（報告）
 - ・地域協議会の運営について（協議）
 - ・今後の部会(公民館事業に係る勉強会)について（協議）
- 2月16日 第10回地域協議会
 - ・頸城区観光協会の現状説明について（報告）
 - ・令和4年度地域活動支援事業の募集要項とスケジュールについて（協議）
 - ・令和3年度地域活動支援事業活動報告会について（協議）
- 3月8日 地域協議会委員と公民館運営委員との意見交換会
 - ・活動状況、活動にあたっての課題等
- 3月11日 地域活動支援事業活動報告会
 - ・令和4年度地域活動支援事業の概要（案）について
 - ・令和3年度地域活動支援事業活動報告（11団体11事業）
- 3月16日 第11回地域協議会
 - ・自主的審議事項の検討について（協議）

令和4年度は、 更なるまちづくりの一步に

新しい市長になられ、地域自治の仕組みの強化を進められています。また、議会でも地域自治について活発に議論されています。こうした動きの中で平成22年度から行われてきた地域活動支援事業は見直して令和4年度で廃止する方向であり、地域が活性化する新たな施策に期待しています。

上越市の地域協議会は地方自治法に基づき、市長が地域の声を聴くために設置した附属機関ですが、諮問に対する答申だけでなく地域内の課題に対し集中審議し、市政に反映することができます。

頸城区では、委員の皆さんと地域の課題を協議し、地域の団体等との連携関係を築きながら、更なるまちづくりの一步となるように進めてまいります。ご理解とご支援をお願いします。

地域協議会 会長 上村 闌一



地域活動支援事業活動報告会
(令和4年3月11日開催)

編集後記

電車内を狙った犯罪が昨今発生しました。小田急線で乗客が切り付けられ10人が重軽傷を負い、京王線でも乗客が刃物で襲われ油で火をつけられる等。それらをまねた九州新幹線で車内の床に火をつける事件。また電車外では大阪のクリニック放火殺人事件等々。孤独の極みの所行なのか、他人を道づれて、かつ自らの命を落とそうとする惨事が目につきました。思い詰めた彼らの心をゆり動かす「ああ馬鹿なことを！」と目覚めさせてくれるチャンスに巡り逢えなかったのでしょうか。

是非是非、私達は、相互信頼の関係を保ち、心温まる社会の中で愛のあるホッコリとした日常を過ごしたいとつくづく思います。昨年11月の市長選で中川幹太郎が誕生しました。「地域分権・人口減少下のまちづくり」等を謳われています。地域協議会へも諸々の変更が今後なされるかと思われれます。頸城区が大いに賑わい活性化出来るように、更に我々の立場で熱意をもってアプローチしていきたくて考えています。

ところで「地域活動支援事業提案」の募集は令和4年度限りで最後ということになりました。大勢の皆様からの提案を期待します。

今後とも、皆様と共に地域の課題解決に向けた取り組みを進めてまいります。ご支援くださいませ。

(地域協議会委員 佐野 喜治)